

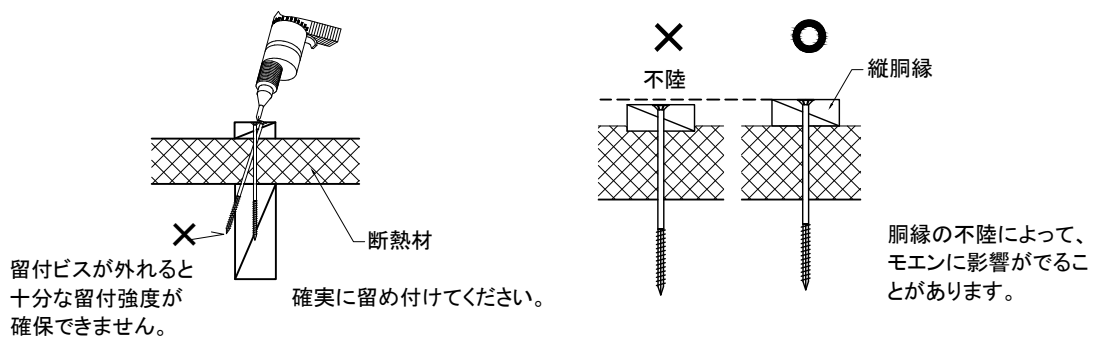
外張り断熱工法

断熱厚75mm超～100mm以下 限定基準

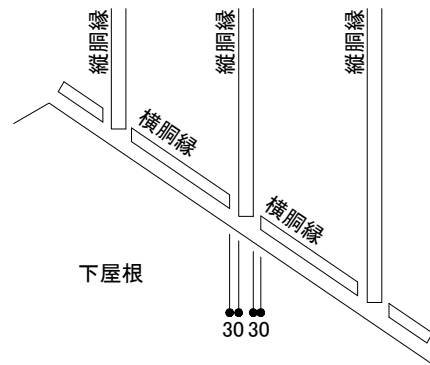
1-6 縦胴縁仕様 各部の規定

4) 施工の注意点

- ①防水紙は、断熱材の上に防水テープなどで施工してください。
(気密シート・気密テープなどは断熱材各社の仕様によります)
- ②開口部まわりの防水テープによる止水処理は、必ず行ってください。
- ③胴縁を留め付ける際は、柱・間柱の位置を確認し、留付ビスの外れには十分注意してください。
胴縁の端空き距離は10mm以上確保し、胴縁が割れた場合は、打ち直してください。
また、断熱材部の胴縁においては、留付ビスの締め付け過ぎによる胴縁の沈み込みに注意してください。
(胴縁面に不陸が生じます。)



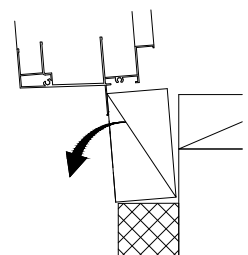
- ④下屋根取り合いについては、縦胴縁を補助棧に耐力上効かせるように、下図のように納めてください。



外張り断熱工法

1-7 その他の注意点

断熱材の厚さが厚くなることに加え、サッシの高性能化に伴いサッシ自体およびガラスの重量が増加することが考えられます。
サッシ周囲の棧がサッシ重量で下がらないよう、必要十分な留め付けを行ってください。



※外張り断熱工法の施工基準以外につきましては、モエン標準施工法に準拠してください。